

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 第一生命保険株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		グループ理念体系(Mission・Vision・Values・Brand Message)の共有により、グループ各社が、それぞれの地域や国で、生命保険の提供を中心に人々の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献することを宣言している。また、グループ戦略の共有により、各社がペクトルをあわせてグループ価値の最大化と持続的な成長を目指す。熊本支社としても、機関長会議、支社DSR(第一生命のCSR)委員会の毎月実施により、19の拠点長とその補佐、支社内勤スタッフが経営理念・目標を共有・実践。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「グループ内部統制基本方針」の中で、グループのコンプライアンスに関する態勢の整備および運営に関する基本的な事項について定めている。この基本方針のもと、グループのコンプライアンス推進にあたつての基本的な考え方などの事項を「グループコンプライアンス基本方針」で、各種運営にかかる事項を「グループコンプライアンス規程」で、それぞれ定めている。また、情報資産保護について、基本的な考え方などを「グループ情報資産保護管理基本方針」に、各種運営にかかる事項を「グループ情報資産保護管理規程」に、それぞれ定めている。熊本支社においては、WEBコンプライアンス研修を全員履修。毎月の機関長会議、支社DSR委員会にて法令順守事項共有。また、各拠点には定期的にコンプライアンスチェックを実施し、法令順守の体制を確立している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		法令・定款などを遵守し、社会的規範、市場ルールに従うことが事業活動を行ううえでの大前提であると認識している。当社では、社会的責任および公共的使命を果たすため、グループの事業運営においてコンプライアンスを推進していく態勢整備を実施。熊本支社においても、法令等順守責任者、法令等遵守推進者を設置。熊本支社においては、WEBコンプライアンス研修を全員履修。毎月の支社DSR委員会にて法令順守事項共有。また、各拠点には定期的にコンプライアンスチェックを実施し、不正競争行為には関与しない旨を徹底。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		「CXデザイン」の取組みを通じたお客様のQOL向上への貢献、それに繋がる4つの領域(「保障」、「資産形成・承継」、「健康・医療」、「つながり・絆」)への取組み、さらには気候変動対応をはじめとした様々な社会課題の解決に一層フォーカスした取組みを行うこととしている。そのため、当社の具体的な取組みやその意義等に関する積極的な情報発信、様々なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの強化、さらには当社従業員に対するお客様QOLの向上・社会課題解決への貢献に取組む意義のより一層の理解・共有を図っていくためのコミュニケーションの強化が欠かせないものと考えている。社内外との双方向のコミュニケーションを一体的に担い、上記の取組みをより一層進めていくための組織として、「コーポレートコミュニケーション部」を2021年度より新設。熊本支社には支社長以下管理職への連携が出来ており、さらに「地域との結びつき担当」を設置している。																		16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		WEBコンプライアンス研修を全員履修。毎月の支社DSR委員会にて法令順守事項共有。また、各拠点には定期的にコンプライアンスチェックを実施。さらには、資料作成時に知的財産保護の観点からチェックDBを活用し、知的財産保護の体制を確立している。										8.2	8.3	9						
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護に関してWEBコンプライアンス研修を全員履修。毎月の支社DSR委員会にて法令順守事項共有。また、各拠点には定期的にコンプライアンスチェックを実施している。資料持出時の記録管理、Eメールの事前・事後承認制度にて個人情報を適切に管理している。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		2020年度は毎月、お客様の声を全営業社員が収集。事例を共有している。2021年度はNPS(ネットプロモータースコア)を指標として、ステークホルダーからの声をより積極的に収集し、フィードバックしていく体制を強化。また、定期的にトップ自ら重要顧客に訪問し、各種会合に出席するなど、ステークホルダーへ適切に対応している。																	16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		取引先等のSDGs取組に関心を持って業務を遂行している。また、使用する紙等もSDGsに対応した再生紙や取組企業のものを導入している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継役職者の指導・育成に取り組んでいる。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		フェアトレード精神に則り、アスクル株式会社のインドネシア「木の畠」プロジェクト(インドネシアの労働者が製造するコピー用紙一箱の購入がインドネシアのユカリ2本の植樹につながる取組)、「20haプロジェクト」(インドネシアの森で暮らす人々の生活と森林保全の両立を目指す、森林保護区の地域にインンドネシア固有種ジルトロンを植える地域住民との共同プロジェクト)に賛同し、インドネシアの生産者や労働者の生活改善を目的とした適性な価格での用紙調達を継続的に行ってい	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 第一生命保険株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		グループとして、全従業員が大切にする価値観として第一生命グループ企業行動原則を定め、その中の一つとして「人権尊重」に取り組むことを宣言し、「第一生命グループ人権方針」を定めている。 国際社会の人権尊重に関する動向をいち早く掴むとともに、人権にかかる原則・イニシアチブ・ガイドラインを正しく理解し、これまで以上にあらゆる場において常に相手を思いやる心を持って行動できる従業員の育成に努め、人間の幸せを追求した「人権尊重」という価値観に根ざした企業となることを目指す。熊本支社においても、毎月のDSR委員会やネットワーク上のデジタルクラスルームにて人権尊重について学習・実践をしている。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎月衛生委員会を実施。従業員の安全と衛生的な労働環境の整備のための打合せと実行へ向けた検討を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		労働基準法に則り、全国同一基準での公平な賃金制度を採用している。また、成果を出している社員への正当な評価を実施している。					5.5			8.5 10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		働き方改革を推進しており、毎週水曜日の早帰りデー設定、20時以降のPC自動シャットダウン、有給休暇の積極取得、テレワークの推進を含め、全社で取り組んでいる。			3	5.5			8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		日常的にスキルアップに使用できる研修動画視聴制度、eラーニング制度、デジタルクラスルーム、階層別研修を始め、社員のキャリアアップを自発的に取り入れるMYキャリア制度など、「お客さまのため」「地域社会への貢献」を実現出来る人財育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								17	
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎月衛生委員会を実施。従業員の安全と衛生的な労働環境の整備のための打合せと実行へ向けた検討を行っている。			3					8										
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		グループ企業行動原則の一つとして「ダイバーシティ&インクルージョン」を設定。人財の多様性を尊重し、すべての従業員が活躍できる安心・安全かつ働きがいのある職場環境を確保し、積極的な人財育成を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウィルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		2020年度より会議・研修はmicrosoft teamsを活用。出勤率1/2になるよう、分散朝礼・teams朝礼を徹底。全社員一人一台のノートPC又はタブレットを配布。内勤職員と拠点管理職は一人一台のスマートフォンでのリモート対応を実施。 【予定:実施時期2021年5月10日】全営業社員が一人一台のスマートフォンを携帯し、テレワーク、リモート営業、ウエブ会議を更に推進する。			3						8 9.1	11 12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		2020年度より会議・研修はmicrosoft teamsを活用。teams朝礼を徹底。全社員一人一台のノートPC又はタブレットを配布。内勤職員と拠点管理職は一人一台のスマートフォンでのリモート対応を実施。 【予定:実施時期2021年5月10日】全営業社員が一人一台のスマートフォンを携帯し、テレワーク、リモート営業、ウエブ会議を更に推進する。								8 9.1	11 12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8 9		12								

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 第一生命保険株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、分別処理、産業廃棄物としての処理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エネルギーの使用的合理化に関する法律に基づいて計算した(海外はGHGプロトコルにより算定)、第一生命グループ全体の2019年度エネルギー総消費量は1,324,550GJ。うち電力消費量927,918GJ、燃料消費量222,499GJ。エアコン設定温度や無駄な電気の節約をはじめ、クールビズ運営、LED化の推進など、エネルギー削減に留意している。						7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		地球温暖化対策の推進に関する法律の係数により(海外は排出係数を使用しGHGプロトコルにより算定)、第一生命グループ全体の2019年度CO2排出量はスコープ1+スコープ2で138,900t-CO2。上記23同様、削減に留意している。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		経団連自然保護協議会、生物多様性民間参画パートナーシップに第一生命として参画。協賛の「都市の緑3表彰」では2019年度、2020年度と2年連続で熊本県内の団体を表彰している。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社員の名刺はすべて再生紙を使用。印刷時の裏紙使用、ペーパーレス推進のためのPC上での資料提供と会議運営を実施。					9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		当社ビルを管理している関連会社「第一ビルディング」とも連携の上、節水と適切な汚水処理を実施している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		社員の名刺はすべて再生紙を使用。印刷用紙は植樹プロジェクト・森林再生プロジェクトを推進している企業の用紙のみを購入。					9.4				12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		経団連自然保護協議会、生物多様性民間参画パートナーシップに第一生命として参画。協賛の「都市の緑3表彰」では2019年度、2020年度と2年連続で熊本県内の団体を表彰している。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		2020年3月よりオフィス電灯のLED化を推進。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		プラスチック使用削減、環境に留意した素材の使用に心がけている。										12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 第一生命保険株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		お客様に高品質の商品・サービスを提供するのみならず、日々の創意工夫と弛まぬ改善によって経営・企業活動全体の経営品質を高めることで、お客様や社会にとっての「最良」を目指し、お客様とお客様の大切な人々の「一生懸命のパートナー」であり続けたいと考えている。お客様に保険金・給付金を確実にお受け取りいただくという生命保険本来の役割の発揮に向け、お客様第一の取組みを追求していく。熊本支社では毎月1回DSR委員会を支社・各オフィスで実施。商品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。				3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		商品の契約年齢は男女とも0歳~85歳、グループ会社においては85歳以上の取り扱いも可能。障がい者においても、条件によっては引受可能な場合もある。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地元地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●					2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7								12.2	13.1			15
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		「1.貧困をなくそう」「3.すべての人に健康と福祉を」を解決するためには、貯蓄性商品・死亡保障・医療保障・企業保障・損害保険・がん保険を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●					2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		女子ハンドボールワールドカップのボランティア、県南部豪雨復旧活動のボランティア、熊本県マスクプロジェクトのボランティア参加、熊本県へのマスク4,000枚寄贈、熊本県へ豪雨災害への義援金600万円寄付、熊本商工会議所と連携した飲食店応援プロジェクトをはじめ、熊本支社として、また、県内19か所の各拠点ごとに様々な地域貢献活動・ボランティア活動・寄付活動を継続実施。今後も積極的に取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		提携かつ販売代理店でもある損害保険会社のシステムを使用し、各拠点のハザードマップ確認はもとより、社員はもちろんお客様へのハザードマップ普及活動を推進している。また、熊本支社の防災責任者を筆頭に、各拠点ごとに防災担当者、非常連絡員、緊急対応要員を設置。防災対策を推進している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		事務所にAED(自動体外式除細動器)を設置。社外講師による社員向けAED使用研修を定期的に継続実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9			11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		九州SDGs経営推進フォーラムに参加。社会課題の解決に向け、社員一人ひとりへのSDGs啓蒙をはじめ、SDGsの普及を目的としたお客様向けお知らせ活動を継続実施予定。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		【予定】実施時期2021年6月】関連会社の第一フロンティア生命の教材「ライフシミュレーションゲーム」を使用し、金融リテラシーを高める教育を地域の学校に提供。				4				8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		九州コンサルティング営業室において、大学卒の女性を毎年継続して雇用。仕事内容を説明する相談会を定期的に開催しており、若者の県内就職を促進する取組みを行っている。				4.4				8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。